

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0395
施設名	光明第六保育園
施設所在地	あきる野市留原 5 0
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】 飼育コーナー設置

- ・身近な動植物に触れるコーナーとすることで、生き物が、食べる、眠る、排泄することで成長していく姿を間近で見ることができる。また、違う生き物との見比べを行い、違いに気付く。
- ・好奇心や探求心が刺激され、疑問に思ったことなどを自ら調べたり、考えたりする。
- ・図鑑や絵本を通して新しい言葉に触れ、語彙力や表現力が豊かになる。
- ・昆虫を飼育することで命の大切さを学び、思いやりの心を育む。

<テーマの設定理由>

身近な動植物に触れるコーナーとすることで、生き物が食べる、眠る、排泄するなどして成長していく姿を間近で見ることができると考えた。又、「なんで？ どうして？」と考える好奇心や探求心の向上もできることを考え、テーマとした。図鑑や絵本を通して新しい言葉に触れ、語彙力や表現力を豊かにするとともに、昆虫の飼育を通して命の大切さや思いやりなど心の成長にもつなげたいと考え、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ①昆虫の飼育をする。
- ②昆虫を飼育する中で何を食べるのか、どのように育つのか観察をしていく。
- ③わからないことや気になったことがあれば図鑑を用いて調べる。
- ④探求心や好奇心が刺激されていきながら命の大切さを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①棚・図鑑・マット・ベンチ・絵本ラックの購入。
- ②生き物コーナーに購入物とカブトムシの飼育ケースの設置。
- ③子どもたちが飼育できるよう餌や昆虫マットなど飼育セットの用意。
- ④気になったことをすぐに調べられるよう絵本コーナーの設置。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・昆虫を観察し、見た目や動きの特徴に気付く。
- ・気になったことを図鑑で調べ、名前や生態系を知る。
- ・観察したことや発見したことを友達や保育者に伝える。
- ・餌やりや世話を通して、昆虫に親しみを持つ。
- ・図鑑や絵本を自由に手に取り、興味に応じて調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「足がいっぱいある!」「角がない!」など気付いたことを言葉にしていた。
- ・「これなんて名前?」「どこに住んでるの?」と興味を持ち、図鑑を開いて探す姿が見られた。
- ・「カブトムシはスイカとか食べるんだって!」と発見を嬉しそうに話す姿があった。また友達が「そうなんだ」と共感し合い、言葉を広げていく関わりが生まれる。
- ・「ごはんあげよう!」「元気かな?」と気に掛ける姿が見られた。友だちと一緒に世話をしながら関わりを楽しみ、思いやりの心を育てていった。
- ・「調べてみよう!」と図鑑を自ら手に取り、マットやベンチで落ち着いて読む姿が見られた。友達と一緒にページを見たり、保育者に「これなに?」と聞いたりしながら主体的に調べる様子があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

昆虫の飼育や図鑑で調べる活動を通して、子どもたちは自ら興味を持ち、「知りたい」という気持ちから主体的に関わる姿が見られた。また、友達同士で気付きを共有したり、言葉で伝え合ったりする中で、関わりが深まり、言語表現も豊かになっていた。さらに、昆虫の世話を通して大切に育てようとする姿が見られ、命への思いやりの気持ちも育てていることに気付いた。環境を整えることで、子どもの主体的な学びや成長に繋がることを改めて感じる事ができた。